

ベースの種類

バンド編成で用いる3種のベース

アコースティックベース



エレクトリックベース



アップライトベース



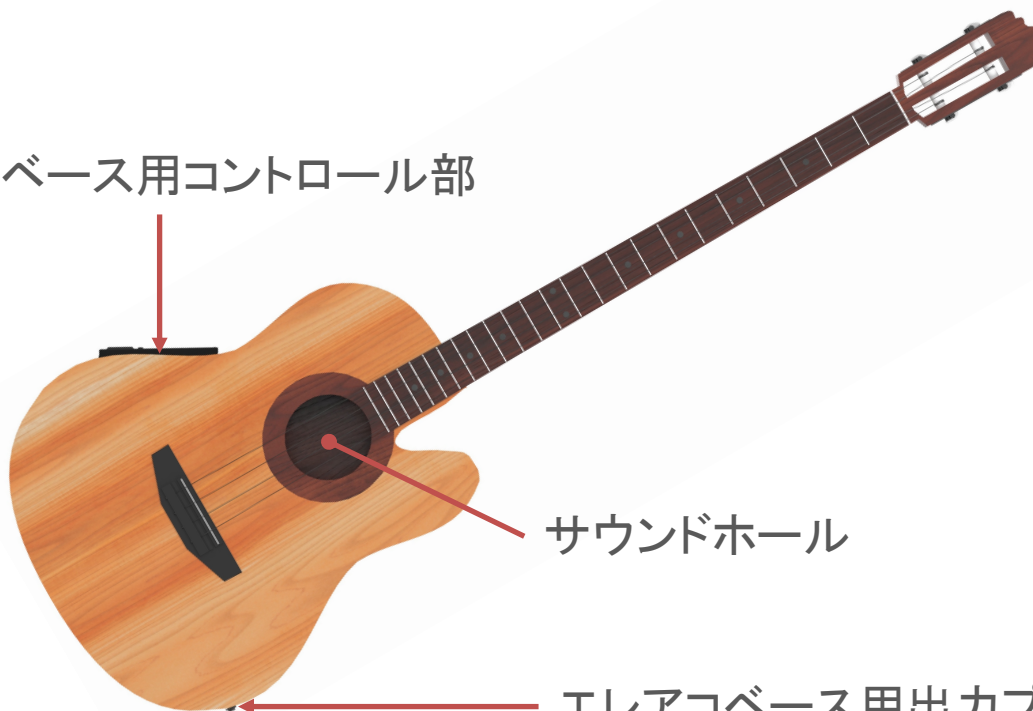
3種のベースに共通する構造



アコースティックベースの構造

弦の振動をボディで共鳴させ、それをサウンドホールから放出することで音を出す仕組み。
サウンドを電気信号に変換してプラグ出力できる「エレクトリック・アコースティックベース（通称エレアコベース）」という楽器も存在する。

エレアコベース用コントロール部



サウンドホール

エレアコベース用出力プラグ

エレクトリックベースの構造

弦の振動をピックアップで集音し、プラグから出力。それをアンプなどを通して増幅させることで音を出す仕組み。各ピックアップのボリュームやサウンドのカラーをコントロールするためのノブも搭載されている。



ピックアップ

コントロールノブ

アップライトベースの構造



アコースティックベース同様、弦の振動をボディで共鳴させ、それをサウンドホール(f字孔)から放出することで音を出す仕組み。ベースギターと違い楽器を立てて演奏するため、楽器を支えるための支柱(エンドピン)がついている。